

記入例

(参考：第9条関係)

医療的ケア実施に係る保育日課（デイリープログラム）

和暦を記入

児童名	幼保 太郎	男 女	年 齢	3 歳児	生年 月 日	令和●年 6 月 1 日生
-----	-------	--------	--------	------	-----------	------------------

歳児を記入

時 間	保育内容	医療的ケアの内容と所要時間	留意事項等
9 : 0 0	登園	経管栄養物品、酸素吸入物品、吸引物品等の持参品の確認（15分） 保護者からの体調の聞き取り（10分） ・酸素飽和度チェック、必要時体温測定 ・酸素ポンペ、経鼻カニューレの装着確認（酸素流量、酸素ポンペ残量、固定位置等） ・経鼻栄養カテーテル挿入位置の確認 保育中の酸素吸入管理・呼吸状態、てんかん症状の有無の観察（60分）	※ 10分毎に、酸素飽和度及び様子を確認。必要時、吸引。
11 : 0 0	給食	食事介助（20分） ・嚥下が弱く、誤嚥や嘔気、嘔吐に注意する必要がある。 ・嘔気やむせ込みが強い場合は、注入に切り替える。 経管栄養の準備（20分） 経鼻カニューレ挿入位置の確認（60分） ・注入食（エネーボ）200ml 約1時間で注入 ・注入中の観察（呼吸状態、腹部症状の有無、チューブの挿入位置の確認）、酸素吸入管理 注入終了後後片付け・記録（20分）	※ 座位保持椅子は約60度とする。 ※ 口腔、鼻腔内に栄養カテーテルの先端が出てきていないか、テープの固定などに注意。
13 : 0 0	午睡	午睡中の呼吸管理、酸素吸入管理（60分） ・けいれん発作が起こりやすい入眠時及び覚醒前の各30分は看護師が見守る。	※ 午睡中の5分毎の観察は、保育士と連携するため、医ケア時間に含まない。
15 : 0 0	おやつ	おやつ摂取の介助（40分） ・給食の対応に同じ。摂取状況により、注入に切り替える。 保育中の酸素吸入管理・呼吸状態、てんかん症状の有無の観察（60分）	※ 10分毎に、酸素飽和度及び様子を確認。必要時、吸引。
17 : 0 0	降園	保護者への報告、持参物品の返却、記録（15分）	
保育の総時間	8時間00分	医療的ケアの総時間	6時間20分
備 考			
一点凝視等の微細発作が保育時間中に2～3回見られるため、適宜様子観察や意識レベルの確認している。 また、月に1回程度チアノーゼを伴うてんかん発作が起きることがあり、昨年度は園から2回救急搬送された。 発作時は、指示書に従い、酸素投与と座薬の挿肛を行う。			

てんかん発作等の頻度、発生時の対応等を記入する。

（令和●年3月30日作成）